



# 高校生 冬期特別講習時間割

## 2009年度高1冬期講習日程

英数国は講義6日・補講3日・試験1日

時間	期間	12/14~17	12/19~20	時間	期間	1/4~6 (補講)	1/7 (総合試験)
15:30~16:50				13:00~14:20		高1 数学 A・B	全クラス (詳細は受験票で通知します)
17:00~18:20	高1 英語 A・B	高1 数学 A・B	高1 数学 A・B	14:30~15:50		高1 国語 A・B	
18:40~20:00	高1 数学 A・B	高1 国語 A・B	高1 国語 A・B	16:00~17:20		高1 英語 A・B	
20:10~21:30	高1 国語 A・B	高1 英語 A・B	高1 英語 A・B				

## 2009年度高2冬期講習日程

英数国は講義6日・補講3日・試験1日

時間	期間	12/22	12/23、26~29	12/30	1/4~6 (補講)	1/7 (総合試験)
15:30~16:50			高2 英語 A・B		高2 数学 A・B・ⅢS	英数国に関して実施 されます。 (詳細は受験票で通知 します)
17:00~18:20	高2 数学 A・B	高2 英語 A・B	高2 国語 A・B		高2 国語 A・B	
18:40~20:00	高2 国語 A・B	高2 数学 A・B	高2 数学 A・B		高2 英語 A・B	
20:10~21:30	高2 英語 A・B	高2 数ⅢS	高2 数ⅢS (16:10~)			

## 2009年度高3冬期講習日程

8日間(4日+4日)、80分講義(英語と物理総合、化学総合は160分講義)

	英語Aクラス	英語Bクラス	英語Cクラス	数学Ⅱ-A	数学Ⅱ-B	数学Ⅲ-A
期間 1	12/30・31、1/2・3	12/19~22 12/26~29	12/14~17 12/19~22	12/14~17	12/14~17	12/14~17
時間 1	13:00~15:50	18:40~20:00 13:00~14:20	18:40~20:00 18:40~20:00	17:00~18:20	17:00~18:20	15:30~16:50
期間 2	1/4~7	1/4~7	12/30・31、1/2・3 1/4~7 (注 <sup>1</sup> )	12/26~29	1/4~7	12/26~29
時間 2	14:30~17:20	13:00~15:50	14:30~15:50 19:10~20:30	16:00~17:20	17:40~19:00	14:30~15:50
	数学Ⅲ-B	物理総合	物理Ⅰ	化学総合	現代文A	現代文B
期間 1	12/14~17	12/19~22	12/14~17	12/26~29	12/19~22	12/19~22
時間 1	15:30~16:50	14:00~16:50	20:10~21:30	17:40~20:30	15:30~16:50	17:00~18:20
期間 2	1/4~7	12/30・31、1/2・3	1/4~7 (注 <sup>2</sup> )	12/30 12/31、1/2・3	12/30・31、1/2・3	12/30・31、1/2・3
時間 2	16:00~17:20	9:20~12:10	17:40~19:00	16:10~19:00 16:40~19:30	16:10~17:30	17:40~19:00
	古典A	古典B	日本史-A	日本史-B	世界史-A	世界史-B
期間 1	12/19~22	12/19~22	12/14~17	12/14~17	12/19~22	12/26~29
時間 1	17:00~18:20	15:30~16:50	15:30~16:50	17:00~18:20	20:10~21:30	19:10~20:30
期間 2	12/30・31、1/2・3	12/30・31、1/2・3	12/30・31、1/2・3	12/30・31、1/2・3	1/4~7	1/4~7
時間 2	17:40~19:00	16:10~17:30	9:20~10:40	10:50~12:10	9:20~10:40	10:50~12:10

(注1 ; 英語Cクラス[英作]の1/7は17:40~19:00)

(注2 ; 高2の物理Ⅰ受講者は、1/7分を1月の平常講義終了後に実施する)

## ▲▽ 受験シーズンを前に ▽▲

胡子俊英

大学のAO入試の二次試験で「外国人看護師・介護士を受け入れる政策に対する意見を述べよ」という課題を生徒と一緒に調べていて、高齢者介護の現場の人手不足解消には必要だという意見と、介護の労働条件が悪いから人手不足になっているのに、その点の解決を図らずに賃金が安くて済む外国人労働者に頼るという対策は本末転倒だ、という反対意見があることがわかりました。ところが、賃金や労働時間といった条件を整備するだけで人材が集まるかという、決してそう単純ではなく、介護する方もされる方も、お互い早く死ねばいいと思ってしまうがちな今のあり方そのものが不幸であり、誰もが老いて死んでいかねばならない現実を直視し、高齢者の介護という仕事そのものに対する見方を変えていく必要があるということまで考えが広がっていきました。社会的な政策はまず経済的な問題が表にありますが、その根にも人の死生観に関わる問題が潜んでいること、そして現代社会は、人の死生観を深く考えさせようとはしない方向に流れている気がしてなりません。

AOや推薦入試は、普通の高校生が考えない課題を与えて考えさせてくれるので、こうした制度の教育効果は抜群だと思うのですが、現実是一般入試では学力が届かない生徒の受け皿になっているだけで、その教育効果を評価する声はほとんど聞かれません。

大学二年生なる息子（館山塾に三年間在籍し、東大文科Ⅱ類に現役合格しました。詳細は昨年塾報に連載しましたので、館山塾のホームページのバックナンバーでご覧戴けます）が、経済学は勉強すればするほどつまらないと言って、結局教育学部へ進学することにしたようです。息子が言うには、東大は確かに点数を取る能力に長けている学生は多いが、人間的魅力に乏しいことを嘆いています。それは自分自身に対する反省でもあるのですが、息子は音楽に没頭することでバランスを取ろうとしているようです。

ところが、所属しているオーケストラでも、多くはブルジョワでその功利的な価値観が彼らの音に現れているが、その点を指摘しても彼らは理解してくれない、と嘆いています。技術は訓練すれば向上しても、そうした人間の本性のようなものはどんなに訓練しても音に出ると言うのです。

これに対しては、ラーメン屋でバイトをしている息子のことから、そのブルジョワ嫌いが偏見となって、音を歪んだものに聞かせている可能性も否定できないのですが、経済一辺倒の現代社会と、それに順応しようとする多くの若者達に反発しようとする気持ちは理解できます。

何も考えずに勉強だけする時期も若い頃には必要です。しかし、どこかでじっくりと死生観を問う時間も必要です。時間内に正解を導く反射神経的能力ばかりに長けた若者を育ててはいないか、というのが私の常に自問していることです。合格至上主義に陥りがちな塾の指導ではあるのですが、それだけではない何かを生徒達に伝える指導を模索する日々は今日も続きます。

## ▲▽ チェーンストア・パラドックス ▼▲

熊倉幹男

次の問題は、今年の慶應義塾大学商学部の論文テストに出題された4問のうちの1問です。ゲーム理論という、最近になって研究が進められている数学分野がありますが、そのトレーニング問題の一つです。ゲーム理論事態は難解なものですが、それが次第に洗練され、「ゲーム理論と経済行動」を著した二人の学者は1994年にノーベル経済学賞を受賞しました。それでは、ゲーム理論とやらをちょっとのぞいてみましょう。

【問題】 次の文章を読み、空欄にあてはまる数、言葉、文章を答えよ。

大手チェーンストアが、あちこちの町にすでに店を出しています。これに対抗して、零細小売商が、それぞれの町に同じ商品を扱う店を新しく出そうかと思案している場面を考えます。

零細小売商は、「参入する」か「参入しない」かを選びます。つまり、新しく店を出すか、出さないかということです。店を出さなければ利益は得られませんが、店を出せば利益が得られる可能性があります。しかし、零細小売商が仮に参入したとすれば、つぎに、大手チェーンストアが選ぶのは、「協調する」か「攻撃する」です。大手チェーンストアが参入してきた零細小売商と仲良くすれば、参入しなかった場合の利益100のうち、25は零細小売商に取られますが、75は維持できるものとします。一方、値下げ競争等を仕掛けて零細小売商を攻撃すれば、競争が泥沼化して、両者とも利益が-25に落ちて、損してしまうものとします。このような仮定のもとで、零細小売商はどう決断し、大手チェーンストアはどう反応するでしょうか。

という問題です。現実でありそうな話ですね。これをゲーム理論で解決していこうということです。この後は誘導形式になっており、特に専門的な知識も必要ありませんから、考えてみましょう。

零細小売商は、以下のように先読みするでしょう。まず、仮に自分が参入したとしたら、大手チェーンストアは自分の利益を考えて「攻撃する」より「協調する」を選ぶでしょうし、そうなれば、自分の利益は、「参入する」という戦略を選ぶと「ア」になり、「参入しない」という戦略を選ぶと「イ」になるはずですが。このような先読みの結果、零細小売商は「ウ」という戦略を選ぶでしょうし、それを受けて大手チェーンストアは「エ」という戦略を選ぶでしょう。

わかったでしょうか。初めの文章の内容が理解出来れば答えられると思います。答えは、ア.25、イ.0、ウ.参入する、エ.協調する、です。さて、このような考えのもと、零細小売商は次々と参入していけば利益は上がり、大手チェーンストアの利益が損なわれますが、実際にそのようなことが起こるのでしょうか。まずないでしょうね。大手チェーンストアは黙っている訳はなく、損失覚悟で攻撃するのは間違いないでしょう。損失するのに、なぜ攻撃するのか？、意地？、プライド？、いえいえ、最大利益のためなのです。だから、この理論は「チェーンストア・パラドックス」と言われます。では、問題を続けます。

これと同じ選択が、1つの町にかぎらず全ての町で行われれば、大手チェーンストアは利益を大きく損なってしまいます。そこで、大手チェーンストアが零細小売商にやられない方法を考えてみます。結論から言うと、大手チェーンストアは、零細小売商が「参入する」か「参入しない」かを選ぶ前に、「オ」と宣言しておくことと良さそうです。…

ここまでのこの問題の一区切りです。この後、それでも零細小売商が参入した場合どうするか、また共存する

ためにはどのような方法があるかということを考える問題となっています。

ゲーム理論の分析は、いくつかの主体(この場合は大手チェーンストアと零細小売商)がそれぞれの目的を持ち、お互いに影響しあう状況のときに有効で、最適な戦略を決定することから経済活動にも用いられています。今回の話はその一部なのですが、おもしろく感じましたでしょうか。これで少しでも経済に興味を持ってくれるとうれしいですね。さらに、経済学、経営学にも数学の理論が必要だということを知って、今以上に数学を一生懸命勉強してくれれば、もっとうれしいです。

で、最後のオの答えは、「参入すれば攻撃する」です。いわゆる、脅しっていうやつですね。

◆◇△◆◇ 大学合格者の声 ◆◇△◆◇  
卒業生からのアドバイス

河口麻衣さん (三輪田学園高)

早稲田大学教育学部合格

上智大学総合人間科学部合格

立教大学現代心理学部合格

学習院大学文学部合格

・第一志望大学の過去問は、何度も繰り返し解くことが大切。同じ問題や似たような問題が出るのがよくあります。同じ大学の他学部の問題も似た問題に出会うことがあります。これもやっておくとよいです。

・センターの日本史の過去問をしっかりとやったあと、MARCHの過去問をやったらけっこうできたので、センターの過去問もしっかりとやるといいと思う。センター対策も塾に任せておけば大丈夫だと思った。

小林倫さん (都立両国高)

明治大学商学部合格

東洋大学経営学部合格

・入試本番では慎重になって、問題を解くのが少し遅くなるので、過去問では10分くらい早めに解く練習をするとよいです。

・この大学に行きたい、と強く思っ入試に臨むことで、英語の長文や現代文など、文章を読むときの集中力が上がりました。

・滑り止めの学校でも、過去問を解いて傾向などをつかんで

おいた方がいいと思います。

菅沼美保さん (都立新宿高)

早稲田大学教育学部合格

明治大学文学部合格

法政大学文学部合格

・早稲田…とにかく人が多い。圧倒されるけどあまり気にしない方がいいです。ポロポロにした参考書とかを持って、周りにプレッシャーを与えるといいです。教室によっては机が小さくて解きにくいです。開始後五分で寝る人、帰っちゃおう人、包帯ぐるぐる巻きにしながら受けている人、色々いておもしろいです。教育学部の国語の問題用紙はでかい、やりづらい。休み時間に確認したものが試験に出たりするので、最後まで(試験が始まるギリギリまで)がんばってみましょう。

・法政…怪しい団体が近くでウロウロしているけど、相手にしない方がいいです。

・明治…本人照合がていねい。

・全体として…チョコ食べたり、音楽聴いたりしてリラックスしながら休み時間に勉強するのいいと思います。周りに雑音を出す人がけっこういるので、そういう状況でも集中できるように訓練するのいいと思います。体温調節は大事ですよ!

・どんなにがんばっていても、サボってしまった記憶とかがよみがえって、直前期は不安になります。まあ不安になるのは誰も同じなので、不安になる暇があつたら勉強した方がいいです。それができる人が受かることができるのだと思います。